

学年									
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	
小笠原村立小笠原中学校 社会科 3年 年間指導計画									
月	単元名	歴史的分野 近代の日本と 世界 (14)				単元 の 系 統 性	「小学校6年での我が国の歴史上の主な事象」「中学校2年 近世の日本」を踏まえて、19世紀ごろから20世紀前半までの我が国の歴史を扱い、我が国の近代の特色を、18世紀ごろからの世界の動きとの関連を踏まえて課題を追究したり解決したりする活動を通して学習することをねらいとしている。		
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
4		1 五箇条の御誓文と明治維新 2 新しい国づくりへの道 3 学制・兵制・税制の改革 4 明治初期の外交と国境の画定 5 岩倉使節団と西南戦争 6 殖産興業と文明開化 7 国会開設へ向けて・自由民権運動 8 大日本帝国憲法の制定と帝国議会 9 不平等条約の改正への努力 10 朝鮮半島と日清戦争 11 ロシアとの激突・日露戦争 12 国際的地位の向上と韓国併合 13 日本の産業革命と国民生活の変化 14 西洋文化と明治の文化 15 学習のまとめ④				つまずきやすいポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史と世界史とを結びつける視点 ・時代順の錯誤 ・用語の定着 ・活用・記述問題 		
						工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初で用語を調べる ・単元の終わりに小テストの実施 ・年表にまとめる ・その際、日本のできごとと世界のできごとを結び付けられるようにする ・ワークシートによる応用問題 		
評価規準									
知識・技能	○開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ○自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解している。 ○我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。				思考・判断・表現	○工業化の進展と政治や社会の変化、明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。		主体的に学習に取り組む態度	
	ワークシート 小テスト 定期考査					ワークシート 小テスト レポート 定期考査			ワークシート ノート 行動観察 自己評価

学年							
小学校				中学校			
1	2	3	4	5	6	1	
小笠原村立小笠原中学校 社会科 3年 年間指導計画							
1	2	3	4	5	6	3	
月	単元名	歴史的分野 二度の世界大戦と日本 (17)			単元の系統性	「小学校6年での我が国の歴史上の主な事象」「中学校3年 近代の日本と世界」を踏まえて、19世紀ごろから20世紀前半までの我が国の歴史を扱い、我が国の近代の特色を、18世紀ごろからの世界の動きとの関連を踏まえて課題を追究したり解決したりする活動を通して学習することをねらいとしている。	
学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫		
1 第一次世界大戦 2 ロシア革命と第一次世界大戦の終結 3 ベルサイユ条約と国際協調の動き 4 大正デモクラシーと政党政治 5 ワシントン会議と日米関係 6 文化の大衆化・大正の文化 7 世界恐慌と協調外交の行きづまり 8 共産主義とファシズムの台頭 9 中国の排日運動と満州事変 10 日中戦争(支那事変) 11 緊迫する日米関係 12 第二次世界大戦 13 太平洋戦争(大東亜戦争) 14 日本軍の進出とアジア諸国 15 戦時下の暮らし 16 戦争の終結 17 学習のまとめ⑤					つまずきやすいポイント		<ul style="list-style-type: none"> ・日本史と世界史とを結びつける視点 ・時代順の錯誤 ・用語の定着 ・活用・記述問題
					工夫・手立て		<ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初で用語を調べる ・単元の終わりに小テストの実施 ・年表にまとめる ・その際、日本のできごとと世界のできごとを結び付けられるようにする ・ワークシートによる応用問題
5・6	評価規準						
知識・技能	○第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 ○経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことを理解している。		○経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現、第二次世界大戦と人類への惨禍について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。		○近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		
	ワークシート 小テスト 定期考査		ワークシート 小テスト レポート 定期考査		ワークシート ノート 行動観察 自己評価		

学年										
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	1	2	3		
小笠原村立小笠原中学校 社会科 3年 年間指導計画										
月	単元名	歴史的分野 現代の日本と世界 (9)				単元の系統性	「小学校6年 我が国の歴史上の主な事象」、「中学校3年 近代の日本と世界」 「中学校3年 二度の世界大戦と日本」を踏まえて、第二次世界大戦後から 20世紀末ごろまでの歴史を扱い、我が国の現代の特色を、世界の動きとの関連を踏まえて課題を追究したり解決したりする活動を通して学習することをねらいとしている。			
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫				
1 占領下の日本と日本国憲法 2 朝鮮戦争と日本の独立回復 3 冷戦と日本 4 世界の奇跡・高度経済成長 5 冷戦と昭和時代の終わり 6 戦後と現代の日本文化 7 地域紛争とグローバル化 8 日本の現状とこれから 9 学習のまとめ⑥						つまずきやすいポイント			<ul style="list-style-type: none"> ・日本史と世界史とを結びつける視点 ・時代順の錯誤 ・用語の定着 ・活用・記述問題 	
						工夫・手立て			<ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初で用語を調べる ・単元の終わりに小テストの実施 ・年表にまとめる ・その際、日本のできごとと世界のできごとを結び付けられるようにする ・ワークシートによる応用問題 	
評価規準										
知識・技能		○冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設がすすめられたことを理解している。 ○高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の進展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。			思考・判断・表現			○諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の民主化と冷戦下の国際社会、日本の経済の発展とグローバル化する世界について現代の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界のあり方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察し、表現している。		
		○現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。						主体的に学習に取り組む態度		
		ワークシート 小テスト 定期考査						ワークシート 小テスト レポート パフォーマンス評価 定期考査		
6								ワークシート ノート 行動観察 自己評価		

学年							小笠原村立小笠原中学校 社会科 3年 年間指導計画			
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	1	2	3		
月	単元名	第1章 私たちの暮らしと現代社会 (10)				単元の系統性	「小学校3年 地域に見られる生産や販売の仕事、地域の安全を守る」、「小学校4年 人々の健康や生活環境を支える事業、自然災害から人々を守る活動」、「小学校5年 我が国の農業や水産業における食料生産、我が国の工業生産、我が国の情報と産業の関わり、我が国の国土の自然環境と国民生活との関連」、「小学校6年 我が国の政治の働き、グローバル化する世界と日本の役割」を踏まえて、現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響を理解できるようにするとともに、現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みについて、具体的な社会生活と関連付けるなどして理解できるようにし、以後の政治、経済、国際社会の学習の導入とすることを主なねらいとしている。			
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫				
1 つながる私たちと世界 2 急速に進展する情報社会 3 誰もが活躍できる社会へ 4 豊かな生活を実現するために 5 伝統文化の継承と文化の創造 6 さまざまな人と生きる 7 誰もが大切にできるルールとは 8 地域のルールを考えよう 9 よりよい社会を築くために						つまずきやすいポイント			<ul style="list-style-type: none"> ・効率と公正という観点 ・用語が難解で定着が難しい ・活用・記述問題 	
						工夫・手立て			<ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初で用語を調べる ・単元の終わりに小テストの実施 ・ワークシートによる応用問題（学習した用語を使って、説明する） 	
評価規準										
知識・技能		○現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。 ○現代社会における文化の意義や影響について理解している。 ○現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。また、人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。			○少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係などに与える影響について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現している。 ○位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。			○少子高齢化、情報化、グローバル化が政治、経済、国際関係に影響を与えていることについて、現代社会にみられる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。 ○私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ○現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。		
		ワークシート 小テスト 定期考査			ワークシート 小テスト レポート パフォーマンス評価 定期考査			ワークシート ノート 行動観察 自己評価		
7										

学年							小学校			中学校			小笠原村立小笠原中学校 社会科 3年 年間指導計画															
1	2	3	4	5	6	1	2	3																				
月	単元名	第2章 個人を尊重する日本国憲法 (20)						単元の系統性			「小学校3年 地域に見られる生産や販売の仕事、地域の安全を守る」、「小学校4年 人々の健康や生活環境を支える事業、自然災害から人々を守る活動」、「小学校5年 我が国の農業や水産業における食料生産、我が国の工業生産、我が国の情報と産業の関わり、我が国の国土の自然環境と国民生活との関連」、「小学校6年 我が国の政治の働き、グローバル化する世界と日本の役割」を踏まえて、個人の尊重と法の支配、民主主義など民主政治の基本となる考え方について理解できるようにするために、人間の尊重についての考え方を、民主社会において全ての人間に保障されるべき価値を内容としてもつ基本的人権を中心に深めることができるようにする。また、各人の人権を守り社会生活を営む規範となることに法の意義があること、そして、そのような法に基づいて政治を行うことによつて基本的人権を保障することを目指していることを理解できるようにし、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。その上で、日本国憲法の基本的原則、天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解できるようにする																	
											学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫											
8・9・10	単元名	第2章 個人を尊重する日本国憲法 (20)						単元の系統性			<ol style="list-style-type: none"> 1 人権の考え方と歴史 2 憲法はこうして生まれた 3 国民の意思による政治 4 基本的人権を尊重すること 5 差別をしない、させない 6 とともに生きる社会の実現へ 7 自由ってなんだろう 8 自由な社会のために 9 人間らしい生活とは 10 人間らしい生活の保障へ 11 自ら人権を守るために 12 自由と権利を守るために 13 発展する人権 14 人権侵害のない世界に 15 憲法に定められた平和主義 16 日本の安全保障と平和主義のこれから 									つまずきやすいポイント			<ul style="list-style-type: none"> ・時事的な社会的事象への関心の低さ ・用語が難解で定着が難しい ・活用・記述問題 					
											工夫・手立て			<ul style="list-style-type: none"> ・時事レポートの実施 ・単元の最初で用語を調べる ・単元の終わりに小テストの実施 ・ワークシートによる応用問題（学習した用語を使って、説明する） 														
評価規準																												
知識・技能	<p>○日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原則としていること、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。</p> <p>○個人の人権についての考え方を基本的人権を中心に深め、民主的な社会生活を営むためには法に基づく政治が大切であることや、法の意義を理解している。</p> <p>○平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、国の安全と生存を保持しようと願い、日本が国際紛争解決の手段として戦争を放棄し、陸海空軍その他の戦力を保持しないことを決意したことについて理解している。</p>						思考・判断・表現			<p>○対立と合意、効率と公正、個人の人権と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○対立と合意、効率と公正、個人の人権と法の支配、民主主義などに着目して、基本的人権を中心とした個人の人権の考え方や、民主的な社会生活を営むことの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○対立と合意、効率と公正、個人の人権と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の防衛・安全と世界平和を確立し実現することの意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>						主体的に学習に取り組む態度												
	ワークシート 小テスト 定期考査									ワークシート 小テスト レポート パフォーマンス評価 定期考査						ワークシート ノート 行動観察 自己評価												

学年							小学校			中学校			小笠原村立小笠原中学校 社会科 3年 年間指導計画										
1	2	3	4	5	6	1	2	3															
月	単元名	第3章 私たちの暮らしと民主政治 (20)				単元の系統性	「小学校3年 地域に見られる生産や販売の仕事、地域の安全を守る」、「小学校4年 人々の健康や生活環境を支える事業、自然災害から人々を守る活動」、「小学校5年 我が国の農業や水産業における食料生産、我が国の工業生産、我が国の情報と産業の関わり、我が国の国土の自然環境と国民生活との関連」、「小学校6年 我が国の政治の働き、グローバル化する世界と日本の役割」を踏まえて、現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響を理解できるようにするとともに、国会を中心とする我が国の政治の仕組みのあらましや政党の役割、議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解を深めることができるようにする。また、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解できるようにする。さらに、住民自治を基本とした地方自治の基本的な考え方を理解できるようにするとともに、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現できるようにする																
							学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫										
10	11	<ul style="list-style-type: none"> 1 私たちの暮らしと民主政治 2 民主政治ってなんだろう 3 国民の代表を選ぶ選挙 4 18歳選挙権と私たち 5 願いをかなえる政党政治 6 マスメディアと政治 7 国会の決定は国民の意思 8 国会は唯一の立法機関 9 行政をまとめる内閣 10 暮らしと関わる行政 11 人権の尊重と裁判 12 民事裁判と刑事裁判 13 私たちの司法参加 14 互いに監視し合う三つの権力 15 地方自治ってなんだろう 16 暮らしを支える地域の行政サービス 17 地域の暮らしを支えるために 18 変わりゆく地域社会 													つまずきやすいポイント			<ul style="list-style-type: none"> ・時事的な社会的事象への関心の低さ ・用語が難解で定着が難しい ・活用・記述問題 					
		工夫・手立て			<ul style="list-style-type: none"> ・時事レポートの実施 ・単元の最初で用語を調べる ・単元の終わりに小テストの実施 ・ワークシートによる応用問題（学習した用語を使って、説明する） 																		
評価規準																							
知識・技能		○議会制民主主義の意義や多数決の原理とその運用のあり方、国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらましや政党の役割について理解している。 ○国会は、国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関であることや、内閣については、我が国が議員内閣制を採用していること、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。また、三つの権利が均衡を保ちながら果たしている役割を理解している。 ○地方自治の基本的な考え方や、首長と議会の二つの機関を中心に行われる地方自治体の政治のしくみ、住民の権利や義務について理解している。				思考・判断・表現				○対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、将来の主権者として主体的に政治に参加することの意義や、法に基づく裁判の保障、民主的な政治と政治参加に関わる課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、地方自治体が果たしている役割や地方財政のあり方などについて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。				主体的に学習に取り組む態度									
		ワークシート 小テスト 定期考査				ワークシート 小テスト パフォーマンス評価 定期考査				ワークシート ノート 行動観察 自己評価													

学年							小笠原村立小笠原中学校 社会科 3年 年間指導計画		
小学校					中学校				
1	2	3	4	5	6	1			
月	単元名	第4章 私たちの暮らしと経済 (20)				単元の系統性	「小学校3年 地域に見られる生産や販売の仕事」、「小学校4年 人々の健康や生活環境を支える事業」、「小学校5年 我が国の農業や水産業における食料生産、我が国の工業生産、我が国の情報と産業の関わり、我が国の国土の自然環境と国民生活との関連」を踏まえて、主として個人、企業及び国や地方公共団体の経済活動を扱い、消費生活を中心に経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などの仕組みや働きなどを理解できるようにすること、個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現できるようにすること、消費者の保護など市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現できるようにすること、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現できるようにすることなどを主なねらいとしている。		
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
1 家計ってなんだろう 2 消費者を守るもの、支えるもの 3 生産と消費を結ぶ 4 生産活動をになう主体 5 さまざまな企業 6 株式会社ってなんだろう 7 働くということ 8 安心して働ける社会 9 ものの価格の決まり方 10 価格のもつ意味 11 金融のしくみと中央銀行 12 間接金融と直接金融 13 財政が果たす三つの役割 14 税金を納めること 15 税金の行方と国の借金 16 経済政策が目ざすもの						つまづきやすいポイント ・時事的な社会的事象への関心の低さ ・用語が難解で定着が難しい ・活用・記述問題			
						工夫・手立て ・時事レポートの実施 ・単元の最初で用語を調べる ・単元の終わりに小テストの実施 ・ワークシートによる応用問題（学習した用語を使って、説明する）			
評価規準									
知識・技能	○身近な消費生活を中心に、経済活動の意義や流通のしくみについて理解している。 ○現代の生産のしくみや企業のしくみと役割、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ○市場経済の基本的な考え方、市場における価格の決まり方と資源の配分について理解している。 ○現代の金融のしくみやはたらし、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。		思考・判断・表現	○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任や流通機構の変化について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場メカニズムが公正にはたらくために必要な条件や制度について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、金融機関の果たす役割や財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。		主体的に学習に取り組む態度	○身近な消費生活や流通のしくみと経済活動とのつながりについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ○企業がもつ社会的責任や、社会の中で働くことの意義などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ○市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ○国民生活における金融機関や財政の果たす役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。		
	ワークシート 小テスト 定期考査			ワークシート 小テスト レポート 定期考査			ワークシート ノート 行動観察 自己評価		

学年							小笠原村立小笠原中学校 社会科 3年 年間指導計画			
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	1	2	3		
月	単元名	第5章 私たちの暮らしと経済(10)				単元の系統性	「小学校3年 地域に見られる生産や販売の仕事」、「小学校4年 人々の健康や生活環境を支える事業」、「小学校5年 我が国の農業や水産業における食料生産、我が国の工業生産、我が国の情報と産業の関わり、我が国の国土の自然環境と国民生活との関連」を踏まえて、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現できるようにすることを主な目的としている。			
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫				
1 身のまわりの社会保障制度 2 互いに助け合う社会 3 社会保障の維持のために 4 暮らしやすいまちづくりへ 5 循環型社会に向けて 6 グローバル化する経済 7 新たな日本経済のあり方						つまづきやすいポイント ・時事的な社会的象への関心の低さ ・用語が難解で定着が難しい ・活用・記述問題				
						工夫・手立て ・時事レポートの実施 ・単元の最初で用語を調べる ・単元の終わりに小テストの実施 ・ワークシートによる応用問題（学習した用語を使って、説明する）				
評価規準										
知識・技能		○社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ○公害など環境汚染や自然破壊の問題とその改善のあり方、グローバル化が進む国際社会における日本の貿易の過去と現状、地域社会の現状など、日本経済のこれからのあり方や課題の解決に向けて考えを深めていくための知識を理解している。			思考・判断・表現 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸課題に関して、国や地方自治体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、環境保全の問題、グローバル化する国際社会における日本、地域経済の活性化など、これからの日本経済のあり方や課題とその解決について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。			主体的に学習に取り組む態度 ○国民生活に社会保障が果たす役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ○環境保全の問題、グローバル化する国際社会における日本、地域経済の活性化など、これからの日本経済のあり方や課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。		
		ワークシート 小テスト 定期考査		ワークシート 小テスト レポート パフォーマンス評価 定期考査			ワークシート ノート 行動観察 自己評価			

学年							小笠原村立小笠原中学校 社会科 3年 年間指導計画			
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	1	2	3		
月	単元名	第6章 国際社会に生きる私たち (15)				単元の系統性	「小学校6年 グローバル化する世界と日本の役割」を踏まえて、国際社会に対する理解を深めることができるようにし、国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現できるようにするとともに、人類の一員としてよりよい社会を築いていくために解決しなければならない様々な課題について探究し、自分の考えを説明、論述できるようにすることを主なねらいとしている。			
学習活動							「わかる」から「できる」授業への工夫			
1 国際社会を構成する国 2 日本の領土をめぐる 3 国際社会のまとめ役 4 地域統合の光と影 5 世界の一員として 6 核なき世界の実現へ 7 終わらない地域紛争 8 さまざまな価値観の中で 9 安全をおびやかすもの 10 なくてはならない食糧と水 11 子どもと女性をめぐる 12 これからの資源・エネルギー 13 「生命の星」を守るために							つまずきやすいポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・時事的な社会的事象への関心の低さ ・用語が難解で定着が難しい ・活用・記述問題 		
							工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・時事レポートの実施 ・単元の最初で用語を調べる ・単元の終わりに小テストの実施 ・ワークシートによる応用問題（学習した用語を使って、説明する） 		
2	評価規準									
知識・技能	<p>○国際社会において、領土(領海、領空を含む。)、国家主権、国際連合の働きなどの基本的な事項を中心に、国際協調の観点から国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。</p> <p>○地域紛争とその背景、地球環境、資源・エネルギー、貧困など国際社会が抱える多くの課題の解決のために、国際社会全体の経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。</p>				思考・判断・表現	<p>○対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の果たすべき役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>○対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、地域紛争とその背景、地球環境、資源・エネルギー、貧困など国際社会が抱える多くの課題の解決のために、我が国の果たすべき役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>		主体的に学習に取り組む態度	<p>○国際社会の平和と秩序を維持していくために、国際機構が果たす役割の大切さや、よりよい社会を築いていくために、国や企業、民間団体や個人などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p> <p>○国際社会の平和の維持と現代の国際社会が抱えるさまざまな課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	
	ワークシート 小テスト 定期考査					ワークシート 小テスト レポート パフォーマンス評価 定期考査			ワークシート ノート 行動観察 自己評価	

学年							小笠原村立小笠原中学校 社会科 3年 年間指導計画				
小学校						中学校					
1	2	3	4	5	6	1	2	3			
月	単元名	終章 私たちが未来の社会を築く (5)				単元の系統性	私たちがよりよい社会を築いていくためにはどうしたらよいかについて、持続可能な社会を形成するという観点から、課題を設けて探究し、自分の考えを説明、論述し、これから社会参画をしていくための手掛かりを得ることを主なねらいとしている。				
3	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫				
	1 持続可能な未来と私たち 2 私の提案「自分を変える、社会を変える」をつくろう 3 持続可能な未来への対話						・記述問題 つまづきやすいポイント				
							・本単元は、中学校3年間乃至小学校からの社会科の総まとめにあたる単元であり、本単元で自分の意見が書けるように積み重ねておく 工夫・手立て				
評価規準											
知識・技能						思考・判断・表現	○社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。		主体的に学習に取り組む態度	○私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	
							ワークシート 小テスト レポート パフォーマンス評価			ワークシート ノート 行動観察 自己評価	